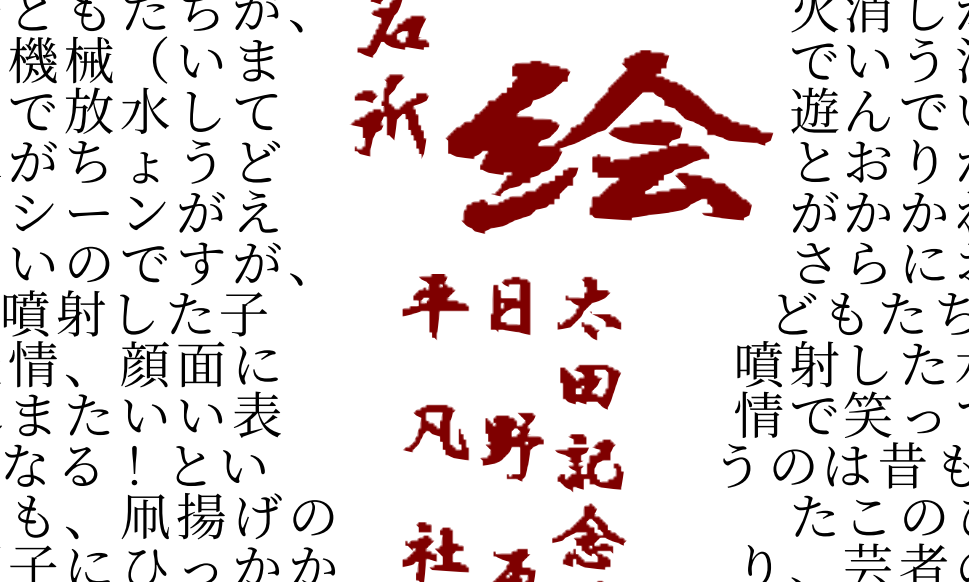
ヘンな浮世絵

歌川広景のお笑い江戸名所

太田記念美術館監修
日野原健司著
平凡社
2017

浮世絵師の**歌川広景**を知っていますか？え？あの有名な「東海道五十三次」の歌川広重？いいえ、歌川**広景**です。歌川広重の弟子にあたる歌川広景のとってもたのしい１冊を今月は紹介します。この本は、歌川広景の代表作『江戸名所道戯尽』という幕末の江戸の名所を描いた作品です。この作品は、師匠の歌川広重の作品『名所江戸百景』をトレースし、かいて あるシーンや、葛飾北斎の作品『北斎漫画』をトレースした作品です。いまなら盗作だの、パクリだのと言われそうですね。師匠である作品のトレースなら師匠の作品を手本に、と考えますが、広景は、歌川派とは関係のない葛飾北斎の作品も手本にしているというのがとても興味深いですね。ほかの浮世絵師の人の作品を模倣することは当時の浮世絵師たちには、現代のような意識はきっとなかったのでしょうね。さて、この『江戸名所道戯尽』どんな作品なんでしょう？タイトルのとおり、ちょっと**ヘン**なんです、そしてお笑い江戸名所百景！のくん「りの景」になでありどもすこし書きましたが、広重人でビ！るいう活動スタイん百新ま番組ぁとい砲のたいもでうこれまたい表情な顔なるなる！といそのままに、描いてよくテレビ、瞬間○○連発いてそれを見事に描いて御成道』という消火ホで遊んでいるのだが、勢いよくとおりかかった武士の顔面にがかかれています。そのシーさらにおもしろいのは、人物どもたちは「やっちまった！」噴射した水が直撃した武士の表情で笑ってしまいます。こんうのは昔も今もかわりませんね！

たこのひもが通りすがった芸り、芸者の頭からすぽっとぬけしていた途中に足を犬にかまれ、髪結床（いまでいう床屋）の髪しまうとんだ大失敗のシーンがすこしかきましたが、本当にどるも豊かでどれもいい顔をしてすち！本の途中には、コラムとしち○○連発」の変顔コレクションものって○○連発」です！人のまぬけなん笑いたいとき、ひといきいれた笑しょうか？師匠の歌川広重の作もしれませんね♪♪